

2026 年 7 月 21 日

各 位

会 社 名 ザインエレクトロニクス株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 南 洋 一 郎
(スタンダード・コード番号：6769)
問 い 合 わ せ 先 取締役総務部長 山 本 武 男
電 話 番 号 0 3 - 5 2 1 7 - 6 6 6 0

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年2月5日に公表した2026年12月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年12月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,508	△390	△316	△333	△31.71
実績 (B)	3,229	△312	△133	△85	△8.12
増減額 (B-A)	720	77	182	247	
増減率 (%)	28.7%	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2025年12月期第2四半期)	1,514	△369	△585	△456	△42.72

2. 2026年12月期通期連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,695	13	85	3	0.36
実績 (B)	6,695	13	85	107	10.19
増減額 (B-A)	—	—	—	103	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年12月期)	4,639	△342	△403	△334	△31.32

2. 修正の理由

当社グループは 2027 年度を目標年次とする中期経営戦略「Innovate100」を推進しております。半導体、AI/IoT ソリューション等から成る事業ポートフォリオを活かしつつ、今後の経済社会において AI 活用ユースケースの適用加速に寄与する革新的なソリューションを提供し、経済社会の生産性向上に取り組み、2027 年度に連結売上高 100 億円超の実現を目指しております。

当第 2 四半期連結累計期間においては、LSI 事業については、概ね当初の計画通りの進捗となりましたが、AIoT 事業において、前期下半期より量産出荷を本格開始したスマートメーター向け製品の出荷が順調に増加し、また製造コスト増加に伴う販売価格改定の影響もあり、計画を上回る見込みとなりました。これらの結果、当社グループ全体としては売上高および売上総

利益が当初計画を上回る見込みです。

販売費及び一般管理費についても、研究開発活動を順調に進めつつコスト削減を進めた結果、全体として計画を若干下回る見込みとなり、上記理由とあわせ営業損益についても当初見込みを上回る見込みとなりました。

また、経常損益および中間純損益についても、上記理由に加え、為替が前期末比で円安に推移したことによる為替差益の計上および保有する投資有価証券を一部売却したことによる投資有価証券売却益の計上等により当初見込みを上回る見込みとなりました。

当期通期の業績見込につきましては、LSI・AIOT 両事業とも上述の通り順調に推移しており、下半期においても現在のところ当社を取り巻く環境に大きな変化はなく売上高、営業利益および経常利益については、2026 年 2 月 5 日に公表いたしました業績見込からの変更はございません。一方、親会社株主に帰属する当期純利益については、上述の通り第 2 四半期連結累計期間中に発生致しました特別利益を反映させ上記の通り修正いたします。

通期業績見込につきましては、今後の事業環境および業績動向を踏まえ、さらなる修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

以上